

保育士等の業務効率化と保育の質向上を目指して、令和7年1月14日から、保育ICTシステムの運用を開始します。

1 保育ICTシステムの概要

保育ICTシステムは、次に掲げるような機能を有しています。

1. 保護者アプリを通じた欠席連絡

朝の欠席連絡を保護者アプリから連絡してもらうことで、電話対応が不要となります。朝の電話対応が減ることで、登園時の対応に注力することができます。また、感染症流行時など、電話がつながりにくい不便さについても解消の一助になると見込んでいます。

2. 保育関係の事務を手書きからシステム作成へ移行

「連絡帳」、「保育日誌」、「週案」などの事務を手書きからシステム作成に移行することで、業務効率化を図ります。システムに登録されている文例や、他の保育士が作成した文章やフレーズも引用することが可能です。

3. システムを利用した情報発信によるペーパーレス化

「園だより」や「保護者あて文書」などについて、お知らせ配信機能を利用し保護者アプリへ配信することで印刷の手間や費用を削減できます。保護者にとっても、連絡の見落としを防いだり、家族で同時に連絡事項を把握できたり、ダウンロードやスクリーンショットで残すこともできるなど、便利な機能となります。

この他にも、登降園管理機能による登降園時間の自動記録など、保育士等にとっても保護者にとっても便利な機能があります。

これらの機能を活用して業務の効率化を図り、「保育」に力を注ぎやすい環境を整えていくことで、保育の質の向上を目指します。

2 事業費等

【事業費】

- ・システム構築費：（税込）783,970円
- ・アクセスポイント購入、LAN配線等：（税込）8,348,340円
- ・ノートPC、ソフト購入：（税込）9,603,506円
- ・システム利用料月額：（税込）202,400円

【導入施設】

公立保育所 3 施設、公立認定こども園 4 施設

【財源】

デジタル田園都市国家構想交付金（補助率1/2）